

# CC・ICT事業

Corporate Communication ・ Information and Communication Technology



**専門性とクリエイティブ力を  
高い次元で融合し、より伝わる  
コミュニケーションを創出します**

全社員の20%を占める充実したクリエイティブスタッフを基盤に、高い専門性を融合させることで、ますます複雑化するコーポレート・コミュニケーションに対応するソリューションを提案します。

## 今後の方向性



1961年にクリエイティブ部門を発足して以来、デザイナー、フォトグラファー、コピーライターなど多様なスキルを持ったクリエイティブ人材を育ててきました。今では100名を超えるスタッフが在籍しており、当社の大きな強みになっています。

このクリエイティブ力が大いに活用されているのが、CC事業とICT事業です。CC事業においては昨今のESG、サステナビリティに対する社会や資本市場からの要請の高まりを背景に、そのニーズが急激に高まっています。またICT事業においては、コロナ禍のなかでデジタルシフトが急激に進んだことにより、多くの企業や組織においてDX(デジタル・トランスフォーメーション)への対応が待たなしとなり需要が大きく創出されています。このような社会的課題に対し、当社ではクリエイティブ力で貢献しようと、情報・コミュニケーション事業の確立に向け、取り組みを進めています。そのためには何より「人材」が必要であり、継続的にプロフェッショナル人材を育成し続けられる仕組みづくりが喫緊の課題です。

情報・コミュニケーション企画部

コーポレートコミュニケーションユニット 次長 **岡部 孝弘**

## 事業環境の認識



Politics  
(政治)

- SDGs推進、GXリーグ発足など、国がサステナビリティ施策を強力に推進



Economy  
(経済)

- 経団連をはじめ経済界全体がサステナビリティを推進
- ESG投資は国内でも拡大



Society  
(社会)

- SDGsの認知・取り組みの拡大、多様性や人権に対する意識の高まり
- 相対的貧困や健康不安、デジタルデバイドなど社会的課題への対応



Technology  
(技術)

- AI、ビッグデータの利活用

## リスク・機会

### リスク

- 情報開示手法の確立、フレームワークの取れんによる、ビジネスニーズの低下
- 破壊的なソリューションによる市場の大きな変化

### 機会

- 企業への情報開示ニーズのさらなる高まり、外的圧力
- ニッチなソリューションの開発による需要の高まり

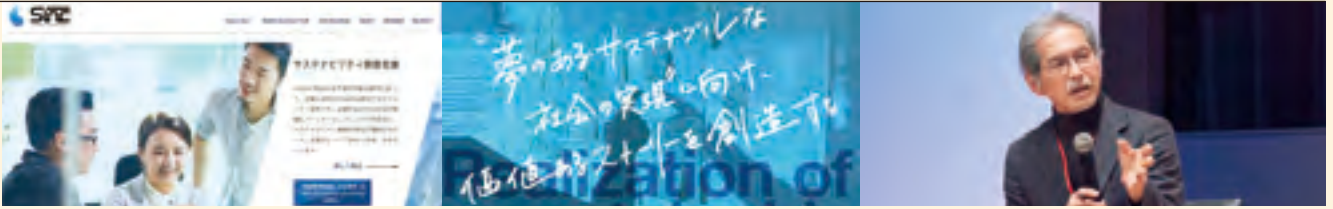
## 強み・課題

### 強み

- コンサルタントとプランナー、デザイナーが所属する一気通貫のプロジェクト体制

### 課題

- 人的リソースの継続的な確保



## 具体的な取り組み

### さらなるハイレベルが求められる企業の情報開示を、さまざまな形で支援

ESGやサステナビリティが企業経営における重要課題となり、それに伴い企業の情報開示に対する要請のレベルが高まっています。

当社のシンクタンク、サンメッセ総合研究所(Sinc)では、この課題に対し、統合報告書等のツール制作支援をはじめ、経営者に対する意識啓発など、さまざまな形でサステナビリティ経営推進のサポートを行っています。

当社が制作支援を担ったレポートには、「GPIFの運用機関が選ぶ『優れた統合報告書』」に選定されたものもあり、Sinc発足以来、手掛ける業種やサポートの領域を拡げています。

また2023年2月に開催された、アジア最大のサステナビリティに関するコミュニティイベント「サステナブル・ブランド国際会議2023」では、当社取締役専務執行役員であり、Sincの代表を務める田中信康をはじめとする4名のコンサルタントが登壇。人的資本経営や脱炭素など、サステナビリティの重要イシューについての発信を行いました。



サステナブル・ブランド国際会議2023

### 当社が制作・運用サポートを担ったe-ラーニングプログラムが、「消防庁長官表彰」を受賞



岐阜市消防本部の皆さまと当社プロジェクト担当者(右端)

ICT分野では、お客さまのお悩みや課題をデジタルソリューションによって解決する取り組みを進めています。

岐阜市消防本部様からいただいたご相談には、甲種防火管理者講習のe-ラーニング化により、受講者ならびに職員双方の講習にかかる負担を軽減し、かつ講義の品質向上にもつながるという効果を創出することができました。

従来は2日間の実講習が必須でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、岐阜市では、令和4年度より全国に先駆けてe-ラーニング導入を決定。学習管理システム開発のロゴスウェア株式会社(本社:茨城県)と協業し、教材構築・e-ラーニングの運営サポートを行いました。講習にかかる負担軽減だけでなく、理解促進にも繋がったとの声もいただいています。

この取り組みが、全国に先駆けたDX推進の好事例として評価され、総務省消防庁の「予防業務優良事業表彰」最上位である「消防庁長官表彰」を受賞。その後、岐阜市以外の自治体からもご相談をいただくようになりました。

## Topics

### 当社社内報『PRINTER』が、「社内報アワード2023」でブロンズ賞を受賞

当社が発行する社内報『PRINTER』が、ウィズワークス株式会社主催「社内報アワード2023」の紙社内報部門の「1冊子(19ページ以下)」にて、ブロンズ賞を受賞しました。

同アワードへは3回目のエントリーで、3年連続のブロンズ賞受賞となります。

当社の社内報はデザインやコピーライト、撮影まですべて社員が制作しており、そのクリエイティブ力に高いご評価をいただいています。



■社内報アワード公式サイト  
<https://wis-works.jp/award/>

